

《担当者名》 浅野雅子 asanom@hoku-iryo-u.ac.jp 児玉壮志 金澤潤一郎

【概要】

精神障害に対する医療の歴史の変遷や障害の捉え方、精神障害領域におけるリハビリテーションの発展と作業療法が果たす機能と役割、作業療法を構成する治療構造などを踏まえ、評価から治療・援助へ至る一連の作業療法の流れを理論的に学習し理解を深める。また、主たる対象疾患の臨床像を理解し、各疾患における適切な作業療法の評価法や治療、指導、援助内容、実践領域や場について理解を深め、各対象疾患における作業療法の役割を考察する。

【学修目標】

《一般目標》

1. 精神領域におけるリハビリテーションをふまえ、その対象や作業療法の実践および過程を理解し、各疾患に対する作業療法に必要な知識と技術について理解を深める。

《行動目標》

1. 精神の病と障害の関連について説明することができる。
2. 精神医療の歴史、精神障害のリハビリテーションと作業療法の発展について説明することができる。
3. 精神障害領域における作業療法の機能と役割を理解し、評価から治療に至る流れについて説明することができる。
4. 作業療法を構成する要素について述べるができる。
5. 病気の回復過程を理解し、回復状態に応じた作業療法の目的や役割を説明することができる。
6. 精神障害作業療法の評価とは何かを理解し、説明することができる。
7. 精神障害作業療法の計画・立案とは何かを理解し、説明することができる。
8. 精神障害作業療法の実践領域や場について、その目的や役割を説明することができる。
9. 各種疾患における作業療法評価や治療、指導、援助内容を説明することができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	総論： 精神の病いと作業療法1	精神の病いの歴史	浅野雅子
2	精神の病いと作業療法2	精神科リハビリテーションの障害概念	浅野雅子
3	精神の病と作業療法3	精神科リハビリテーションの理念	浅野雅子
4	作業療法の基本的実践1	治療構造：対象、作業、作業療法士	浅野雅子
5	作業療法の基本的実践2	治療構造：場所、時間、集団	浅野雅子
6	作業療法の基本的実践3	回復状態に応じた精神科リハビリテーション 精神科病床の機能分化と予防	浅野雅子
7	作業療法の基本的実践4	対象関係 治療・援助における関係	浅野雅子
8	作業療法の基本的実践5	作業療法実践の場	浅野雅子
9	作業療法の基本的実践6	作業療法実践のプロセス（手順・流れなど） 症例からみる精神科作業療法	浅野雅子
10	総論部まとめ	総論部のまとめ	浅野雅子
11	各論 疾患・障害別作業療法の実際1	統合失調症の作業療法（急性期）	浅野雅子
12	疾患・障害別作業療法の実際2	統合失調症の作業療法（慢性期）	浅野雅子
13	疾患・障害別作業療法の実際3	気分（感情）障害の作業療法	児玉壮志
14	疾患・障害別作業療法の実際4	気分（感情）障害の作業療法	児玉壮志
15	疾患・障害別作業療法の実際5	神経症性障害の作業療法	浅野雅子
16	疾患・障害別作業療法の実際6	神経症性障害の作業療法	浅野雅子
17	疾患・障害別作業療法の実際7	摂食障害の作業療法	浅野雅子
18	疾患・障害別作業療法の実際8	パーソナリティ障害の作業療法	児玉壮志
19	疾患・障害別作業療法の実際9	児童・思春期の精神障害における作業療法	児玉壮志
20	疾患・障害別作業療法の実際10	てんかんの作業療法	浅野雅子
21	疾患・障害別作業療法の実際11	器質性障害（アルコール依存、精神作用物質など）の	浅野雅子

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		作業療法	
22	各論部まとめ	各論部のまとめ	浅野雅子
23	関連する治療・技法	デイケア、訪問看護	浅野雅子
24	関連する治療・技法	アウトリーチ、地域移行	浅野雅子
25	関連する治療・技法	就労支援（IPSを含む）	浅野雅子
26	関連する治療・技法	家族支援－心理教育 SST	浅野雅子
27	関連する治療・技法	認知行動療法	金澤潤一郎
28	関連する治療・技法	認知行動療法	金澤潤一郎
29	関連する治療・技法	司法精神医療	浅野雅子
30	関連する治療・技法	認知機能のリハビリテーション	児玉壮志

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

中間試験 各20%、定期試験 60%

試験結果の詳細については適宜担当教員に確認すること。

【教科書】

作業療法学全書 「作業治療学2精神障害（改訂第3版）」 共同医書出版 2010年

山根寛 「精神障害と作業療法（新版）病いを生きる、病いと生きる 精神認知系作業療法の理論と実践」 三輪書店 2017年

【参考書】

香山明美 他 「生活を支援する精神障害作業療法急性期から地域実践まで（第2版）」 医歯薬出版 2014年

長崎重信 監 「精神障害作業療法学（改訂第2版）」 メジカルビュー社 2015年

早坂友成 編 「精神科作業療法の理論と技術」 メジカルビュー社 2018年

朝田隆 他 「精神疾患の理解精神科作業療法（第3版）」 中央法規 2012年

【学修の準備】

2年次開講の「精神系評価学」および「精神医学」をふまえた授業となりますので、十分に内容を整理しておくこと。

また、事前学修と事後学修の探索・学習にそれぞれ80分を費やすこと。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

（DP3）作業療法士として必要な科学的知識や技術を備え、心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれらの人々が営む生活に対して、地域包括ケアの視点から適切に対処できる実践的能力を身につけている。

【実務経験】

浅野雅子（作業療法士）、児玉壮志（作業療法士）、金澤潤一郎（臨床心理士、公認心理士）

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関や地域での臨床経験を活かした講義を行う。